

GREEN ニュース

環境アドバイザー連絡協議会

代表 原田 邦昭

2020 年 4 月発行



群馬県環境アドバイザーの動き

(令和 2 年 4 月 20 日現在)新規登録名

第 11 期(登録期間:平成 30 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日)です。新規登録者を含め令和 2 年 4 月 20 日現在、男性 184 名、女性 96 名、合計 280 名です。

自然環境部会 123 名 温暖化・エネルギー部会 95 名、ごみ部会 85 名、広報委員会 27 名が登録し活動されています。

送付方法、メール 147 名 封書 133 名

県内の環境イベントカレンダーをご活用下さい。
<http://www.gccca.jp/volunteer/>

表紙写真

第 10 回美しいぐんまの山と

森林フォトコンテスト

知事賞 「斜光」 本橋 威 様

撮影場所：赤城山

目次

- P2 自然環境課
- P3 代表 原田 邦昭
- P4 自然環境部会、温暖化・エネルギー部会
- P5 ごみ部会
- P6 広報委員会
- P7 太田市 西村 豊
- P8 思いをつなぐ会 葛西 詔子

サクラがなくなる!? クビアカツヤカミキリの駆除と情報提供にご協力ください!

群馬県環境森林部自然環境課

クビアカツヤカミキリとは

中国などを原産とする「特定外来生物」です。
成虫（図1）は6～8月に発生し、サクラなどに産卵します。
幼虫は木の内部で2～3年かけて成長します。

〔特定外来生物〕

法律により、飼育や生体の保管・運搬・野外へ放つこと等が
原則禁止されている外来生物

特徴

クビが赤く、
全体はツヤのある黒色

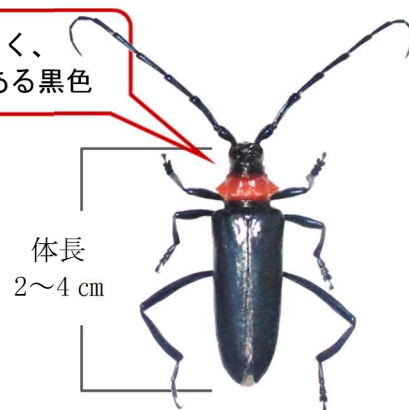


図1：成虫（実物大）

クビアカツヤカミキリの被害

幼虫が生きた木の内部を食い荒らし（図2）、木を弱らせ、枯死させます。
枯死した木が倒れることにより、建物・人身への二次被害が発生する
おそれもあります。

〔被害対象木〕

サクラ類、ウメ、モモ、スモモ、ハナモモ（バラ科樹木）

※ 観光や農産物への経済的影響が大きい

〔被害発見のポイント〕

幼虫は木に空けた穴から「フラス（図3）」と呼ばれる木くずと
フンの混ざったものを大量に排出します。



図2：被害木の断面



図3：フラス

発生状況（令和元年8月末時点）

国内では、全国11都府県（図4）
で発生が確認されています。
県内では、平成27年に初めて
確認されました。
令和元年に実施した調査では、
東部地域の7市町（図5）に
おいて3,561本（図6）の
被害木が確認されています。



図4：国内の発生都府県



図5：県内の被害地点



図6：被害本数の推移

駆除と情報提供にご協力をお願いします！

- 成虫は踏みつぶすなど、その場で駆除してください。
- 成虫やフラスを発見したら、最寄りの市役所・町村役場へお知らせください。



詳しくは、こちらまで↑



群馬県環境アドバイザー・幹事会について

代表 原田 邦昭

会員の皆様、月日の経つのは早いもので令和2年の3月になりました。地球の温暖化の為か、今年は昨年より積雪が少なく寒い冬でなく暖冬です。

昨年の11月17日(中国の武漢の医師が警鐘した)新型コロナウイルスによる肺炎が地球規模(パンデミック)で広がってしまっています。東京でも今年の1月3日に最初の感染者が出ています。7月24日から始まる予定だった東京オリンピックの聖火もギリシャから福島に届いていますが開催が1年延期されることになってしまいました。

さて、環境アドバイザー第11期もあと1年を残す程になりました。会員の皆さんの中から地域代表として幹事を選ばせて頂き、連絡協議会の行事もスムーズに進んでいます。この会の活動、行事を幹事会で話し合い、より良い行事をめざして各自からご意見を頂きそれをまとめて次の行事につなげていきます。

その幹事会は3か月に1回、年間4回、県庁で開催されています。幹事各位も、自分で、地域で活動されている他、仕事もありますから毎回出席されることは大変だと思いますが、地域の代表で環境の知識を持たれているその力を県の会議に参加して生かしてほしいと思います。この他総会等がありますので是非参加して地域の活動に役立てて頂きたいと思います。尚、会議の内容そして大きな行事は逐次、県庁から郵便やメールでの定例文としてお伝えしております目を通してください。

毎年度の大きな行事は、①第8回みんなの・ごみ減量フォーラム、②第22回ぐんま環境フェスティバル、③第10回環境にやさしい買物スタイル、等が話し合われます。

幹事の方々は是非出席されると共に、行事への参加をお願いしたいと存じます。

また、毎回の幹事会への出席の有無は忘れずに事務局まで、ご連絡頂ければと思います。

*今年度からは自分たちの地域での実践活動「私たちの活動、イベント情報の用紙」を県庁(環境サポートセンター)に送られ、地域のイベントを県下全域の会員に知らせ、活性化に役立てて頂きたいと思います。

さあ！一緒に環境アドバイザーを楽しみながら各自も知恵を得て環境活動の実践体験をしましょう。

＜お知らせ＞群馬県環境情報「ECOぐんま」公式Twitter(ツイッター)を始めました！

環境アドバイザーの皆様も地元の環境イベントの開催情報等を県民の皆様へ広くご紹介したい事がございましたら、当局ツイッターにおいてPRすることも可能ですので、その際は、イベント概要やチラシ等を下記担当メールアドレスまでお寄せください。

また、スマートフォンやパソコン等でSNSを利用されていれば、是非とも

だき、情報発信に御協力をお願いします。

＜ECOぐんま公式ツイッター＞

https://twitter.com/ECO_gunma



スマートフォンのQRリーダーで読み込めます。



自然の森観察会の紹介

自然環境部会 田中 和夫

高崎市の寺尾町から吉井町に抜ける途中に「群馬県立観音山ファミリーパーク」があります。その名の通り子供向けの遊具や芝生広場、ランニング

(ウォーキング) コースなどが整備されていますが、その奥に「自然の森」があります。自生していた樹木や新たに植えた木々や野草があり、四季折々の風情が楽しめます。

「自然の森」の植物の解説本ができました。この解説本は「ぐんま緑のインタープリター協会」メンバーが全面的に協力して作成しました。解説本には樹木編と草花編の二冊があり各々500円で、観音山ファミリーパークで入手できます。遠方の方は下記にお問い合わせ下さい。



<問い合わせ先> ○NPO法人KFP友の会 (高崎市寺尾町 1064-30)

○電話 : 027-328-8389

温暖化・エネルギー部会 令和2年度活動計画

温暖化・エネルギー部会 奈賀 由香子

1. 定例会は、これまで通り奇数月の土日午前に開催
次回開催は 5月16日(土) 10:00～ 前橋市市民活動支援センターにて
勉強会テーマ：県内の公共交通課題について
7月には省エネ住宅の見学を予定
2. 年間を通して、温暖化の適応策として「災害時のリスクとエネルギー対策」について取り組んでいく(勉強会、12月頃には講演会の開催、防災関連団体との連携など)
3. みんなのごみフォーラムへの提案「温暖化の視点で見たプラスチックごみ対策」
4. 地熱エネルギーの見学会(任意参加) 4月下旬に開催
5. 太陽光、小水力、地熱等のエネルギー関連については情報交換を随時
6. メーリングリストでの情報・意見交換

※メーリングリストへの登録希望の方は下記までお知らせください

marukonaga@yahoo.co.jp (奈賀)

部会に登録されていない方でも、定例会等への参加ができますので、どなたでも関心のある方はお気軽におでかけください！

ごみ勉強会に参加して

ごみ部会 山田 一郎

去る2月18日に、前橋市市民活動支援センター会議室に於いて、前橋市環境部ごみ減量課ごみ減量係から砂川課長補佐を招いて勉強会を実施しました。環境アドバイザー前橋会とごみ部会との共催で、初めての試みでもあり人が集まるかどうか分かりませんでしたが、結果的には23名の参加がありほぼ満席の状態でした。

宗会長（前橋会）の司会で始まり、鈴木顧問、原田代表の挨拶の後、勉強会は始まりました。前橋市は県内12市の中で、一人1日当たりのごみ排出量が最も少なく、プラスチック製食品容器のリサイクルの実施やリユース宝市の開催など市民との連携によってごみを減量しようとする姿勢が明確に表明されています。15頁に及ぶ資料に基づく丁寧な説明と生ごみ処理や紙のリサイクル、最近の資源物取引状況などについての質疑応答がありました。担当者でもある課長補佐からは好調の理由は、よく分からないとの話もありました。

しかし、ごみ減量の特効薬など今のところありませんし、市の職員をはじめとして多くの市民がごみ減量のためにコツコツと頑張った結果ではないかと言うのが私の個人的な感想です。今回の勉強会では、ごみの減量はもちろんのこと、ごみ部会と前橋会と前橋市の協働と言う形に新たな可能性を感じたのは私だけでしょうか。



「敷島公園野鳥観察会」に参加しました

広報委員会 酒井 義明

令和2年1月26日(日)9:00～12:00に敷島公園にて、『南橋の自然観察と環境を守る会』[会長：宗 義彦(環境アドバイザー連絡協議会副代表)]主催の野鳥観察会に参加しました。

当日は少し冷え込むものの25名の参加者とともに敷島公園周辺～園内の約2kmの道のりを2時間半かけて探索しました。探索の方法は、事前にルートマップ(ポイントごとに観察できそうな野鳥が記載)とこれまでの探鳥記録が配布され、これをもとに各自が観察した野鳥名を地図上に記入していきます。そして、最後に全体で探鳥記録の整理をとおして振り返りを行いました。探索中は、主要なポイントでの専門家による説明や和やかな雰囲気の中、参加者同士の情報交換も盛んで楽しく学ぶことができました。また、公園を上手に利用することで探索中の安全確保やトイレ・休憩場所の確保にも配慮がされていました。

探索途中の松林内では、ワカケホンセイインコ(ペットが野生化したもの)が数羽確認されました。樹洞にも出入りしているようで、在来の樹洞性鳥類との営巣場所をめぐる競合が心配されます。

冬は鳥を見るにはよい季節です。冬枯れの木立は見通しがきき、夏は山地にいる鳥たちも人里近くに多くの種類が現れます。また、水辺には冬鳥として渡来したカモ類が生殖羽に換わり美しい姿を集団で見せてくれます。そのため、この時期の観察会は会員にも人気で3年連続の開催になるそうです。



綿打ふれあい祭りに参加

太田市 西村 豊(NPO法人新田環境みらいの会)

太田市綿打地区生涯学習協議会主催の第12回綿打ふれあい祭りが2月15日と16日に綿打行政センターで開催されました。新田環境みらいの会は第1回から出展し、今年も会議室でお絵かきマイバック創りや3R宣言、環境サポートセンターから借用した顕微鏡を使った水生生物や土中生物の観察を行い好評でした。

展示は地元河川のプラスチックごみの現状、絶滅危惧種のナガエミクリやコウホネ、外来種はクビアカツヤカミキリやオオフサモ等の状況を展示し説明しました。笹川衆議員議員も来場し、クビアカツヤカミキリやオオフサモ等の外来種やプラスチックごみの問題について意見交換ができました。

2月25日の衆議院予算委員会で外来種対策（特にクビアカツヤカミキリやオオモフサモの駆除と政府の支援の在り方）やプラスチック問題について質問されました。（オオフサモについては昨年当会で作成した調査資料を参考にして頂きました。）

また地元小学校と中学校の校長先生も熱心に見学され、今後課外事業等で協力していく予定です。



子どもの体験活動支援

私たちは、子供の尊厳を大切に、設立以来続けている植花活動を中心に様々な子ども体験活動や地域交流活動を行っている団体です。中でも、小・中学生や高校生、地域の方々などを行っている花植えは 10 年目となりました。また、数年前からは要請を受け、中一ギャップ問題の解消方法の一つとして小学 6 年生と中学 1 年生の交流を兼ねた花植え活動も実施するようになりました。

お陰様で、環境アドバイザー高崎地区会の皆さんをはじめとし思いを同じにする協力団体の方々の賛同を得て活動の幅も広がっています。

綺麗なものを見て綺麗だと言える心をはぐくみ、花を通して「優しい心」を大切にする子供たちが育ち、環境ボランティアの後継者になっていただけたら幸いです。

高崎市 葛西 詔子（NPO法人思いをつなぐ会）



GNの発行予定および問い合わせについて

グリーンニュース（GN）は年 4 回発行します。各号のレイアウトは 2 月、4 月、8 月、11 月の編集会議で決定される予定です。掲載したい原稿などございましたら下記にご連絡ください。

群馬県 環境政策課 環境政策係 環境サポートセンター 登坂

〒371-8570 前橋市大手町一丁目 1 番 1 号

TEL 027-226-2827 FAX 027-223-0154 E-mail:tosaka-hitoshi@pref.gunma.lg.jp